

原著論文

八重山諸島西表島から得られた日本初記録のコクハンカワウツボ (新称)
とその生息状況First Record of the Moray Eel, *Gymnothorax polyuranodon* (Pisces: Muraenidae)
from Iriomote Island, Yaeyama Islands, Japan with Notes on its Habitat波戸岡清峰¹⁾・瀬能 宏²⁾・矢野幾維³⁾・鈴木寿之¹⁾Kiyotaka HATOOKA¹⁾, Hiroshi SENOU²⁾, Korechika YANO³⁾ & Toshiyuki SUZUKI¹⁾

Abstract. A single specimen of the moray eel identified as *Gymnothorax polyuranodon* (Bleeker, 1853) recently collected from the freshwater area of a river in Iriomote Island, Yaeyama Islands, is the first record of the species from Japan. The specimen was characterized as follows: total vertebrae 147 (predorsal 10, preanal 72); body with irregular black specks; vertical fins low; jaw teeth in two or three irregular rows; anus posterior to mid-body; preanal length 54.2 % of total length, head length 9.3 %, trunk 44 %; body depth 4.1 at gill opening, 4.9 at mid-anus; predorsal length 83.1 % of head length, upper-jaw length 25.8 %, lower-jaw length 22.7 %, snout length 10.7 %, eye diameter 4.9 %, interorbital width 9.1 %; dorsal-fin height 29.7 % of body depth at anus. A new standard Japanese name “Kokuhan-kawautsubo” is proposed for the species. This seemingly rare occurrence of the species is considered to be natural dispersal; while an established population is unlikely, it is necessary to monitor its occurrence from a conservation perspective, with reference to previous cases of fishes inhabiting similar environments.

Key words: catadromous, conservation, endangered, freshwater, Ryukyu Islands

緒 言

ウツボ科魚類は、そのほとんどが浅海岩礁域や珊瑚礁域（水深 500 m までの砂底や泥底で得られる

場合もある）で見られるが、小数ながら沿岸汽水域や河川で見られる種もある（Böhlke *et al.*, 1999）。今回、八重山諸島西表島のユチン川で *Gymnothorax polyuranodon* (Bleeker, 1853) と同定される、河川を主な生息場所とするウツボ属 *Gymnothorax* の一種が 1 個体採集された。本標本は日本からの本種の初記録であり、新標準和名を提唱するとともに詳細な記載を行った。

方 法

計数・計測は基本的に Böhlke (1989) に従ったが、計測位置については一部補足した。100 mm 以内の計測についてはノギスにより 0.1 mm 単位で、100 mm 以上については大型の定規により 1 mm 単位で計測した。

¹⁾ 大阪市立自然史博物館
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23
Osaka Museum of Natural History, 1-23 Nagai Park,
Higashi-Sumiyoshi-ku, Osaka 546-0034, Japan
波戸岡清峰 : murene1956@gmail.com

²⁾ 神奈川県立生命の星・地球博物館
〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History, 499
Iryuda, Odawara, Kanagawa 250-0031, Japan

³⁾ ダイブサービス矢野
〒907-1541 沖縄県八重山群竹富町字上原 537
Dive Service YANO, 537 Uehara, Taketomi-cho, Okinawa
907-1541

本報告に用いた標本は神奈川県立生命の星・地球博物館の魚類資料 (KPM-NI)、画像は同館の魚類写真資料データベース (KPM-NR) に登録、保管されている。なお、同館の資料番号はコンピュータ上では便宜上ゼロを付加した7桁の数字で表されるが、ここでは資料番号として本質的な有効数字で表記した。

標本: KPM-NI (神奈川県立生命の星・地球博物館資料) 58778、922 mm TL、沖縄県竹富町字高那 (24°22'47.26"N, 123°53'7.43"E)、標高 9 m、八

重山諸島、西表島、ユチン川 (河口から 600 m)、水深 0.5 m、2020 年 6 月 4 日、タモ網、矢野幾維採集。

画像: KPM-NR 201183A-F (= KPM-NI 58778)、鮮時、瀬能 宏撮影; KPM-NR 201183G-O (= KPM-NI 58778)、軟 X 線写真、瀬能 宏撮影; KPM-NR 201183P, Q (= KPM-NI 58778)、生態、撮影地点は標本の採集地点と同じ、2020 年 5 月 31 日、矢野幾維撮影; KPM-NR 201183R (= KPM-NI 58778)、生態、撮影地点は標本の採集地点と同じ、2020 年 6 月 4 日、矢野幾維撮影。

記 載

コクハンカワウツボ (新称)

Gymnothorax polyuranodon (Bleeker, 1853)

(Figs. 1–5; Table 1)

Table 1. Counts and measurements of *Gymnothorax polyuranodon*
表 1. コクハンカワウツボ *Gymnothorax polyuranodon* の計数值および計測値

KPM-NI 58778	
Total length (TL)	922
Counts	
Vertebrates	
Total vertebrate	147
Predorsal vertebrate	10
Preanal vertebrate	72
Abdominal vertebrate	80
Caudal vertebrate	67
Head pores	
Supraorbital pores	3
Infraorbital pores	4*
Mandibular pores	5
Branchial pores	1
Measurements	
As % of TL	
Preanal length	54.2 %
Tail length	45.8 %
Trunk length	44.1 %
Head length	9.3 %
Predorsal length	7.8 %
Postorbital length	8.2 %
Body depth at gill Opening	4.1 %
Body width at gill Opening	1.4 %
Body depth at mid-anus	4.9 %
Body width at mid-anus	2.0 %
Body depth at mid-tail	4.1 %
Body width at mid-tail	1.3 %
Dorsal height at mid-anus	1.5 %
Dorsal height at mid-trunk	1.5 %
Dorsal height at mid-tail	1.6 %
Anal height at mid-tail	1.1 %
As % of head length	
Predorsal length	83.1 %
Snout length	10.7 %
Eye diameter	4.9 %
Upper jaw length	25.8 %
Lower jaw length	22.7 %
Suborbital length	3.0 %
Infraorbital length	9.1 %
Gill opening length	7.6 %

* On right side, 2 abnormal pores observed between 3rd and 4th normal pores.

Muraena polyuranodon Bleeker, 1853: 75 (type locality, Ceram, Indonesia); Bleeker, 1854: 248; Günther, 1870: 114.

Polyuranodon kuhlii Kaup, 1856: 65 (replacement name for *Muraena polyuranodon*).

Gymnothorax polyuranodon: Bleeker, 1865: 89, pl. 174, fig. 2, name only (plate 174 separately published in 1864; date of publication by Kottelat, 2013a); Smith, 2012: 24.

Gymnothorax (Muraena) polyuranodon: Weber & de Beaufort, 1916: 369.

Uropterygius fijiensis Fowler & Bean, 1923: 9 (type locality, Lebukeya, Fiji Islands).

計数形質と計測形質の値は Table 1 に示した。魚体は延長し、側偏する。背鰭は低く、しかも鰭を被う皮が厚いため、目立たない。背鰭起部は鰓孔より僅か前方にある。臀鰭は低く、その起部は肛門の直後にある。吻は鈍い。鰓孔は体側のほぼ中央に位置し、その開孔部は眼径より大きい (鰓孔長は眼径の約 1.5 倍)。肛門は魚体の中央より後方にある。

前鼻孔は管状で短く、吻端にある。後鼻孔は眼の前縁の背方にあり、孔の周囲は小さな突起状の皮弁で縁取られる。頭部側線管開孔部は小さいが明瞭 (Fig. 2)。眼上管の開孔数は 3 で、そのうちの最前端のものは前鼻孔の前下方にあり小さい。第 2 番目のものは前鼻孔の位置にあって側方からは見えない。第 3 番目のものは吻の背方中央より前よりにある。眼下管の開孔数は 4。第 4 番目は眼の後縁より後方にある。なお、右側の眼下管の第 3 番目と 4 番目の開口部の間には変異と思われる 2 つの開口部がある (眼の後縁下部とそのやや後方に位置し、第 3 番目と 4 番目開口部の並びより背方にある)。下顎管の開孔数は



Fig. 1. *Gymnothorax polyuranodon*, fresh specimen, KPM-NI 58778, 922 mm total length, Yuchin River (600 m from the mouth of river, depth 0.5 m), Iriomote Island, Yaeyama Islands, 24°22'47.26"N, 123°53'7.43"E, Alt. 9 m, 4 June 2020, collected by K. Yano. Photo by H. Senou.

図1. コクハンカワウツボ. KPM-NI 58778, 全長 922 mm, 瀬能 宏撮影.



Fig. 2. Head of *Gymnothorax polyuranodon*, KPM-NI 58778. Arrows indicate lateral-line pores and origin of dorsal fin; white line, gill opening. Photo by H. Senou.

図2. コクハンカワウツボの頭部. KPM-NI 58778. 黒小円は側線管開口部, 白線は鰓孔. 矢印は側線管開口部の位置, および, 背鰭起部の位置を示す. 瀬能 宏撮影.

5で、最前端のものは非常に小さい。第5番目のものは口裂後端下方にある。口裂後端と鰓孔のほぼ中間、背方に、鰓部側線管開口部が1つある。

下顎が僅かに短いものの、上下両顎はほぼ等しく口は完全に閉じられる。歯は、ほとんどが細長く鋭いが、頑丈なものではない (Fig. 3)。前上顎

骨板の中央部には他より大きな歯が10本見られるが、歯列はなさない。周辺部には16本の中央部より小さな不揃いの歯が並ぶ。歯の数については、抜け落ちているものは含めていない (以後同様)。鋤骨部には1列に並ぶ10本の小さな歯がある。主上顎骨歯はほぼ2列。内側のもの (右側



Fig. 3. Dentition of *Gymnothorax polyuranodon*, KPM-NI 58778. Drawn by K. Hatooka.

図3. コクハンカワウツボの両顎歯. KPM-NI 58778. 波戸岡清峰作画.

は8本、左側は6本)は、外側のものより大きい、前上顎骨板中央部のものよりは小さい。外側のものの大きさは不揃い(右側は15本、左側は20本)。下顎歯はほぼ2列であるが、前方は3列。内側のものは外側のものより大きい、前上顎骨板中央部のものよりは小さい。外側のものの大きさは不揃い。左側は全体で42本、前方内側の7本が目立つ。右側は全体で41本、前方内側のもの3本が目立つ。

体全体に不定形な黒斑がある。口裂後端から鰓孔にかけての頭部の黒斑は前後につながり縦縞状(前方で約7本)を呈する。生時、地色は基本的に黄色、固定後は白色になる。眼の周辺に小さな黒色斑紋がある。上顎縁辺部、下顎には目立った斑紋は無く、口腔内は白色 (Fig. 5)。

分布

八重山諸島西表島(本報告)。海外では、台湾から、フィリピン、インドネシア、パプアニューギニア、オーストラリア北東部、ニューカレドニアを経てフィジーに至る熱帯亜熱帯の西太平洋域(Allen *et al.*, 2002, 2006; Bleeker, 1853, 1854; Böhlke *et al.*, 1999; Böhlke & McCosker, 2001; Ebner *et al.*, 2011; Fricke *et al.*, 2011, 2014, 2019; Fowler & Bean, 1923; Herre, 1923, 1924; Ho *et al.*, 2015; Miesen *et al.*, 2016; Kottelat *et al.*, 1993; Kottelat 2013b; Paxton *et*



Fig. 4. *Gymnothorax polyuranodon*, KPM-NI 58778. Depth 1.5 m. Photo (KPM-NR 201183P) by K. Yano, 31 May 2020.

図4. コクハンカワウツボ, KPM-NI 58778. 水深1.5 m, 2020年5月31日, 矢野維幾撮影 (KPM-NR 201183P).



Fig. 5. *Gymnothorax polyuranodon* (right, KPM-NI 58778) and *Anguilla marmorata*. Depth 0.5 m. Photo (KPM-NR 201183R) by K. Yano, 4 June 2020,

図5. コクハンカワウツボ(右, KPM-NI 58778)とオオウナギ. 水深0.5 m. 2020年6月4日, 矢野維幾撮影 (KPM-NR 201183R).

al., 1989; Tsukamoto *et al.*, 2014 など) 及びインド洋のスリランカ (Pethiyagoda, 1991)。

生息状況

西表島のユチン川の河口から約600 m上流、感潮域最上端から約50 m、水深0.5 mの純淡水域で確認され採集された。中流域の大きな淵の淀みにある岩の隙間に、ウナギ科 Anguillidae のオオウナギ *Anguilla marmorata* Quoy & Gaimard, 1824 と共に見られた (Fig. 5)。なお、Ebner *et al.* (2011) はオーストラリア北東部のクイーンズランドの湿潤熱帯地域 (Australian Wet Tropics) から得られた本種の採集調査記録から、本種の幼魚や成魚は淡水域ないし塩分の濃度が0.5%以下の汽水域に棲息するとしている。また、Tsukamoto *et al.* (2014) は南太平洋フィジー諸島の一河川 (Navua River, Viti Levu Island, Fiji) の河口から13.5 kmの地点で採集された4個体の本種標本における耳石のストロンチウム/カルシ

ウム比から、本種は淡水域ないし汽水域に生息する降河回遊型の海産のウナギ類である可能性があるとしている。本邦には、河川汽水域を主な生息場所とするウツボ科魚類としては本種の他に、ナミダカワウツボ *Echidna rhodochilus* Bleeker, 1863 やコゲウツボ *Uropterygius concolor* Rüppell, 1838 が分布する(波戸岡ほか, 1992; 波戸岡, 2013)。

考 察

今回の標本は、体に不揃いの黒色斑紋があり、頭部の斑紋は縦縞を形成すること、背鰭起部は鰓孔より僅か前方(頭部後方)にあること、肛門は体の中央より後方にあること、歯は鋭いものの小さく、歯列数が多いこと、垂直鰭が低く目立たないことなどから *Gymnothorax polyuranodon* (Bleeker, 1853) に同定された (Bleeker, 1853; Böhlke & Smith, 2002)。なお、Fricke *et al.* (2020) は Kottelat (2011) を参照し、本種の原記載論文を Bleeker (1854) としているが、本報では、原記載論文および公表年については Kottelat (2013b, p. 42) に従った。これによれば公表年は 1853 年となる。目立たない垂直鰭については、Böhlke & McCosker (2001) で、垂直鰭のないことが特徴のキカイウツボ属 *Uropterygius* の種として誤同定されることがあると記述されているように、本種の大きな特徴となっている。*Uropterygius fijiensis* を Smith (1994) 及び Böhlke & Smith (2002) に従ってシノニムリストにあげたが、*Uropterygius fijiensis* の原記載では(垂直)鰭はないと記述されている。

全長については、Ebner *et al.* (2011) の報告によれば最大で 1500 mm とのことである。この報告では 36 件の観察例(実測によるものは 15 件で 76–830 mm)があげられているが、601–700 mm が最も多かった。今回の個体(922 mm)は本種としてはやや大型のものと思われる。

標準和名については、標本 KPM-NI 58778 に基づき、体の黒色斑紋、採集場所にちなみ、コクハンカワウツボを提唱する。

ウナギ目魚類の初期生活史については不明な点が多いが、本邦における出現はその多くが南方外洋域からの仔稚魚の分散によるものと考えられている(沖山, 2014)。今回の西表島における本種の出現は、共著者らによる 1970 年代からの継続的な調査にもかかわらずこれまで記録されていないことや、確認個体が成魚と考えられる 1 個体のみであることから偶発的なものと考えられる。しかしながら、本種と同様な棲息域や分散様式をもつテッポウオ科 *Toxotidae* のテッポウオ *Toxotes jaculatrix* (Pallas, 1767) は、1980 年にはじめて西表島で確認された後、1997 年以後は毎年確認されるようになり、最終的には同島

に定着した(鈴木ほか, 2002)。同様な事例はヨウジウオ科 *Syngnathidae* のタニヨウジ *Microphis retzii* (Bleeker, 1856) でも知られている(加藤ほか, 2020)。また、本種は国際自然保護連合のレッドリストでは Least Concern に選定されているが (Mailautoka *et al.*, 2019)、本邦において西表島を主生息地とするテッポウオやタニヨウジ、ウツボ科の別属で河川汽水域に棲息するナミダカワウツボやコゲウツボはいずれも絶滅危惧 IA 類に選定されている(環境省, 2020)。従って、保全生物学的観点から本種の動態を注視していく必要があるだろう。

なお、本種は観賞魚として流通しており、今回の西表島における出現が飼育個体の導入によるものである可能性を完全には否定できないが、過去に同島から新産種として記録されてきた多くの魚類と同様、導入を強く示唆する証拠がない限りは在来個体と見なしておくことが妥当である。

謝 辞

本研究を行うにあたり、軟X線写真の撮影にご協力頂いた林 弘章氏(神奈川県立生命の星・地球博物館ボランティア)、文献収集にご協力いただいた甲斐嘉晃博士(京都大学舞鶴水産実験所)に厚くお礼申し上げます。

引用文献

- Allen, G. R., J. E. McCosker, N. J. Cross, D. J. Bray & D. F. Hoese, 2006. Muraenidae. In Hoese, D. F., D. J. Bray, J. R. Paxton & G. R. Allen (eds.), *Zoological catalogue of Australia, Volume 35, Fishes, Part 1*, pp.243–259. ABRIS & CSIRO Publishing, Australia.
- Allen, G. R., S. H. Midgley & M. Allen, 2002. *Field guide to the freshwater fishes of Australia*. i–xiv+1–394pp. Western Australian Museum, Perth.
- Bleeker, P., 1853. Aanghangsel op de Bijdrage tot de kennis der Muraenoïden en Symbranchoïden van den Indischen Archipel. *Verhandelingen van het Bataviaasch Genootschap van Kunsten en Wetenschappen*, **25**(5): 63–76.
- Bleeker, P., 1854. Derde bijdrage tot de kennis der ichthyologische fauna van Ceram. *Natuurkundig Tijdschrift voor Nederlandsch Indië*, **5**(3): 233–248.
- Bleeker, P., 1865. *Atlas ichthyologique des Indes Orientales Néerlandaises*. Tome IV. Murènes, synbranches, leptocéphales, pp.73–132; pls.169–180 (published in 1864) [by Kottelat, (2013a) for date of publication]. Frédéric Müller, Amsterdam.
- Böhlke, E. B., 1989. Methods and terminology. In Böhlke, E. B. (ed.), *Fishes of the western North Atlantic. Volume one: Orders Anguilliformes and Saccopharyngiformes*,

- pp.1–7. Memoirs of the Sears Foundation for Marine Research, New Haven.
- Böhlke, E. B. & J. E. McCosker, 2001. The moray eels of Australia and New Zealand, with the description of two new species (Anguilliformes: Muraenidae). *Records of the Australian Museum*, **53**(1): 71–102.
- Böhlke, E. B., J. E. McCosker & D. G. Smith, 1999. Family Muraenidae. In Carpenter, K. E. and V. H. Niem (eds.), *Species identification guide for fisheries purposes. The living marine resources of the western central Pacific, Vol. 3. Batoid fishes, chimeras and bony fishes part 1 (Elopidae to Linophrynidae)*, pp.1643–1657, pls.1–4. FAO, Rome.
- Böhlke, E. B. & D. G. Smith, 2002. Type catalogue of Indo-Pacific Muraenidae. *Proceedings of the Academy of Natural Sciences of Philadelphia*, **152**: 89–172.
- Ebner, B. C., B. Kroll, P. Godfrey, P. A. Thuesen, T. Vallance, B. Pusey, G. R. Allen, T. S. Rayner & N. Perna, 2011. Is the elusive *Gymnothorax polyuranodon* really a freshwater moray? *Journal of Fish Biology*, **79**(1): 70–79.
- Fowler, H. W. & B. A. Bean, 1923. Descriptions of eighteen new species of fishes from the Wilkes Exploring Expedition, preserved in the United States National Museum. *Proceedings of the United States National Museum*, **63**(2488): 1–27.
- Fricke, R., G. R. Allen, D. Amon, S. Andréfouët, W.–J. Chen, J. Kinch, R. Mana, B. C. Russell, D. Tully & W. T. White, 2019. Checklist of the marine and estuarine fishes of New Ireland Province, Papua New Guinea, western Pacific Ocean, with 810 new records. *Zootaxa*, **4588**(1): 1–360.
- Fricke, R., G. R. Allen, S. Andréfouët, W.–J. Chen, M. A. Hamel, P. Laboute, R. Mana, H. H. Tan & D. Uyeno, 2014. Checklist of the marine and estuarine fishes of Madang District, Papua New Guinea, western Pacific Ocean, with 820 new records. *Zootaxa*, **3832**(1): 1–247.
- Fricke, R., W. N. Eschmeyer & R. Van der Laan (eds), 2020. *Eschmeyer's Catalog of fishes: genera, species, references*. Online. Available from internet: <http://researcharchive.calacademy.org/research/ichthyology/catalog/fishcatmain.asp> (updated on 2020–10–05).
- Fricke, R., M. Kulbicki & L. Wantiez, 2011. Checklist of the fishes of New Caledonia, and their distribution in the southwest Pacific Ocean (Pisces). *Stuttgarter Beiträge zur Naturkunde A, Neue Serie*, **4**: 341–463.
- Günther, A., 1870. *Catalogue of the fishes in the British Museum, Vol. 8*. xxv+549pp. Taylor and Francis, London.
- 波戸岡清峰, 2013. ウツボ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索, 全種の同定, 第三版, pp.244–261, 1786–1792. 東海大学出版会, 秦野市.
- 波戸岡清峰・瀬能 宏・藍澤正宏, 1992. 日本およびフィジーより初記録のナミダカワウツボ(新称). *I. O. P. Diving News*, **3**(4): 2–3.
- Herre, A. W. C. T., 1923. A review of the eels of the Philippine Archipelago. *Philippine Journal of Science*, **23**(2): 123–236, pls.1–11.
- Herre, A. W. C. T., 1924. Some rare Philippine eels. *Philippine Journal of Science*, **24**(1): 107–111.
- Ho, H. –C., D. G. Smith, J. E. McCosker, Y. Hibino, K.–H. Loh, K. A. Tighe & K.–T. Shao, 2015. Annotated checklist of eels (orders Anguilliformes and Saccopharyngiformes) from Taiwan. *Zootaxa*, **4060**(1): 140–189.
- Kaup, J. J., 1856. Uebersicht der Aale. *Archiv für Naturgeschichte*, **22**(1): 41–77.
- 環境省, 2020. 環境省レッドリスト 2020: 汽水・淡水魚類. 環境省, 環境省レッドリスト 2020 の公表について, 別添え資料 3, pp. 12–17. Online. Available from internet: <https://www.env.go.jp/press/files/jp/114457.pdf>. (posted on 2020–03–27 by the author)
- 加藤 柊也・丸山智朗・乾 直人・後藤暁彦・鈴木寿之・瀬能 宏, 2020. 石垣島と西表島におけるタニヨウジの記録と定着可能性. *魚類学雑誌*, **67**(1): 117–122.
- Kottelat, M., 2011. Pieter Bleeker in the Netherlands East Indies (10 March 1842 – ca. 21 September 1860): new biographical data and a chronology of his zoological publications. *Ichthyological Exploration of Freshwaters*, **22**(1): 11–94.
- Kottelat, M., 2013a. Dates of publication of Bleeker's Atlas ichthyologique and Poissons de Madagascar. *Zootaxa*, **3681**(3): 281–285.
- Kottelat, M., 2013b. The fishes of the inland waters of Southeast Asia: a catalogue and core bibliography of the fishes known to occur in freshwaters, mangroves and estuaries. *Raffles Bulletin of Zoology*, 2013, Supplement, (27): 1–663.
- Kottelat, M., A. J. Whitten, S. N. Kartikasari & S. Wirjoatmodjo, 1993. *Freshwater fishes of western Indonesia and Sulawesi*. xxxviii+259pp., 84pls. Periplus Editions, Hong Kong.
- Mailautoka, K., J. McCosker & B. Ebner, 2019. *Gymnothorax polyuranodon*, Freshwater Moray. The IUCN Red List of Threatened Species 2019: e.T195780A123380420. Online. Available from internet: <https://www.iucnredlist.org/species/195780/123380420>. (Last assessed on 2019–02–13 by the authors).
- Miesen, F. W., F. Droppelmann, S. Hüllen, R. K. Hadiaty & F. Herder, 2016. An annotated checklist of the inland fishes of Sulawesi. *Bonn Zoological Bulletin*, **64**(2): 77–106.
- 沖山宗雄編, 2014. 日本産稚魚図鑑, 第二版. li+1640+xiv+82+108pp. 東海大学出版会, 秦野市.
- Paxton, J. R., D. F. Hoese, G. R. Allen & J. E. Hanley, 1989. *Zoological catalogue of Australia, Volume 7. Pisces. Petromyzontidae to Carangidae*. xii + 665pp. Australian Government Publishing Service, Canberra.
- Pethiyagoda, R., 1991. *Freshwater fishes of Sri Lanka*. xiii+362pp. The Wildlife Heritage Trust of Sri Lanka, Colombo.
- Smith, D. G., 1994. *Catalog of type specimens of recent fishes in the National Museum of Natural*

- History, Smithsonian Institution, 6: Anguilliformes, Saccopharyngiformes, and Notacanthiformes (Teleostei: Elopomorpha). Smithsonian Contributions to Zoology, (566): i-iii+1-50.
- Smith, D. G., 2012. A checklist of the moray eels of the world (Teleostei: Anguilliformes: Muraenidae). Zootaxa, **3474**: 1-64.
- 鈴木寿之・瀬能 宏・矢野幾維・細川正富・吉郷英範, 2002. 西表島に定着したテッポウウオ. I. O. P. Diving News, **13**(2): 2-4.
- Tsukamoto, K., S. Watanabe, M. Kuroki, J. Aoyama & M. J. Miler, 2014. Freshwater habitat use by a moray eel species, *Gymnothorax polyuranodon*, in Fiji shown by otolith microchemistry. Environmental Biology of Fishes, **97**(12): 1377-1385.
- Weber, M. & L. F. de Beaufort, 1916. The fishes of the Indo-Australian Archipelago, III. Ostariophysii: II Cyprinoidea, Apodes, Synbranchi. xv+455pp. E. J. Brill, Leiden.

摘 要

波戸岡清峰・瀬能 宏・矢野幾維・鈴木寿之, 2021. 八重山諸島西表島から得られた日本初記録のコクハンカワウツボ (新称) とその生息状況. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (50): 47-53. [Hatoaka, K., H. Senou, K. Yano & T. Suzuki, 2021. First record of the moray eel, *Gymnothorax polyuranodon* (Pisces: Muraenidae) from Iriomote Island, Yaeyama Islands, Japan with notes on its habitat. *Bull. Kanagawa Pref. Mus. (Nat. Sci)*, (50): 47-53.]

八重山諸島西表島のユチン川の淡水域 から *Gymnothorax polyuranodon* (Bleeker, 1853) と同定される本邦初記録のウツボ科魚類の一種が採集され、コクハンカワウツボという新標準和名を付し、標本の詳細な記載を行った。今回の出現は偶発的なものと思われるが、今後、保全生物学的観点から本種の動態を注視していく必要がある。

